



^{かい} ^{よう}
海洋
プラスチック
^{もん} ^{だい}
ごみ問題
^し
を知って
いますか？



^{ちよう} ^ふ ^し ^{ない} ^{げん} ^{じょう} ^{とり} ^{くみ}
調布市内の現状と取組

海洋プラスチック ごみ問題を 知っていますか？

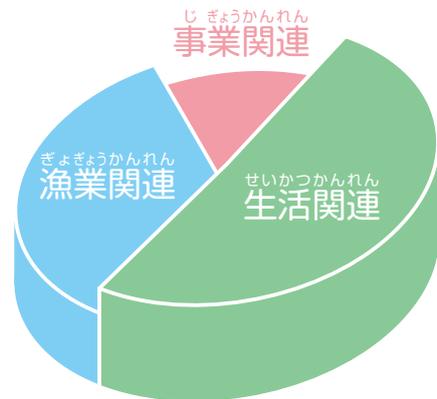
プラスチックのごみが海岸に漂着したり、
海底に沈んでいるのを見たことがありますか？
現在、世界中の海でプラスチックごみが増えており、
環境汚染の問題になっています。

年間約500～1300万トンもの
プラスチックごみが海へ流出しており、
2050年には、海の中にすむ魚よりも
プラスチックごみのほうが
多くなるのではないかとわれています。

1 海ごみはどこからくるの？

海岸に打ち上げられたごみの種類は、『生活関連』、『漁業関連』、『事業関連』の大きく3つに分かれます。このうち、約半分を占めるのが『生活関連』で、私たちの生活で使われたレジ袋やペットボトルなどが数多く含まれます。

ポイ捨てされたごみなどが風や雨によって川や水路などに流され、やがて海にたどりつきます。



2 そもそもプラスチックって何？

プラスチックとは、石油などを原料として化学的に作られた「合成樹脂」のひとつです。色々なものに加工しやすいため、私たちの身の回りには様々なプラスチック製品が使われています。

良いところ

- 金属やガラスなどと比べて軽い
- 加工しやすく、他の素材と比べて値段が安い

悪いところ

- 熱に弱く、燃えやすい
- 紫外線により、屋外ですぐに劣化して割れやすくなる

主なプラスチックの種類

ポリエチレンテレフタレート

ペットボトル
衣類(ポリエステル)など

低密度ポリエチレン

ポリ袋
ラップなど

アクリル樹脂

コンタクトレンズなど

高密度ポリエチレン

ポリバケツなど

ポリプロピレン

荷造り用の紐など

AS樹脂

ライター
扇風機の羽など

塩ビ

水道管のパイプなど

ポリスチレン

プラモデル
発砲スチロールなど

ABS樹脂

旅行用のトランク
自動車部品など

3 多摩川の河川敷の様子

ポイ捨てされたごみや、台風や豪雨などで増水した時に流されてきたごみが数多く見られます。これらのごみは、放っておくと海まで流されてしまいます。



調布市内の多摩川の様子

多摩川で見つかったプラスチックごみ



ペットボトル



発泡スチロール



ポリぶくろ



お菓子の容器



布(ポリエステル)

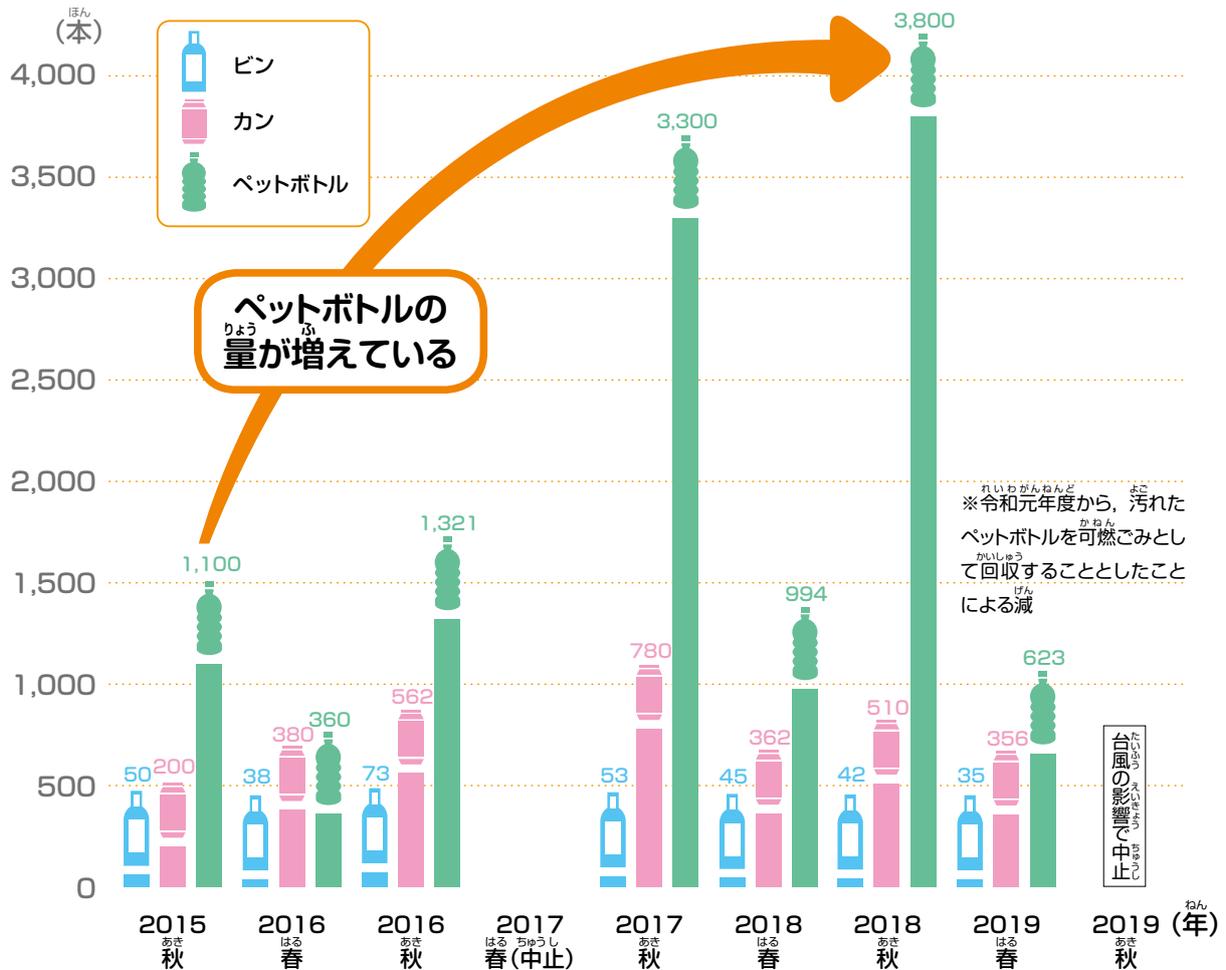


三角コーンの破片

4 多摩川のごみの量をみてみよう

多摩川河川敷で実施したクリーン作戦で回収したごみの量をみると、プラスチック製品であるペットボトルのごみが増えていることがわかります。

多摩川クリーン作戦で回収したごみの量



5 多摩川のごみはどこに向かうの？

多摩川のごみは、東京国際空港(羽田空港)などがある河口域をたどって、東京湾に流れ込みます。その後は海流などによって漂流したり、外国の海岸に漂着することもあります。



多摩川河口域の様子

6 海洋プラスチックごみの影響

私たちの生活で使われるプラスチックが、プラスチックごみとなって海洋環境を汚染し、海の様々な生きものに影響を与えています。

プラスチックが生き物の身体に取り込まれると…

プラスチックごみを魚などの海の生き物が餌と間違えて食べてしまうことがあります。そうすると、胃の中にごみがたまり続けて、きちんとエサを食べることができなくなり、死んでしまうことがあります。マイクロプラスチックなどの小さなプラスチック片には有害物質が付着することがあります。また、プラスチックを作るときに混ぜる「添加剤」の中には、生き物に有害な物質が含まれているため、私たちを含めた生き物に取り込むことで、身体に悪い影響を与えることが懸念されています。



マイクロプラスチックとは？

プラスチックの破片のうち、5mm以下のものはマイクロプラスチックと呼ばれています。

現在、世界の海に5兆個ものマイクロ・プラスチックが海の中を漂っているといわれています。



情報館近くの大摩川でも、マイクロプラスチックが見つかりました。

マイクロプラスチックはどうやってできるの？



マイクロプラスチックには、プラスチックごみが風、水、石、紫外線などで劣化したり砕けたりして小さな破片になったものや、スクラブ、マイクロビーズをはじめとする、もともと5mm以下の製品プラスチックがあります。

7 調布市の取り組み

市では、海洋プラスチックごみ対策として、今年度から「CHOFUプラスチック・スマートアクション」を立ち上げました。

職員による率先行動や市民・事業者など一体となった行動により、プラスチックごみの減量やプラスチックごみの海洋流出防止に繋がる取組を積極的に実施していきます。

アクション 1

市としての率先行動の促進 (市庁舎での取り組み)

- 職員による率先行動
- 物品調達等における取組



ペットボトルのない自動販売機

アクション 2

市民・事業者等との 協働による取組

- プラスチックごみの海洋流出防止につながる取組の実践
- プラスチックごみの発生抑制
- イベントなどでのワンウェイプラスチック製品使用の削減



調布駅前クリーン作戦



紙ストローの使用

アクション 3

東京2020大会を契機とした 取組とその他の取組

- 東京都や東京2020大会組織委員会と連携したイベントでのリユースカップなどの促進
- 環境省が行っている「プラスチック・スマート」活動への参加など、新たな施策展開の検討・実施
- 子ども向け環境教育の実施
- 小学校出前講座



海ごみゼロウィーク

プラスチックごみはどうしたら減らせるのかな？

私たちにできること

海に流れ出すごみを減らそう

『多摩川・野川クリーン作戦』(調布市) や
『海ごみゼロウィーク』(環境省) などのごみ拾い活動に参加しましょう。
川治いや海治いのごみを拾うことで、海に流れ出すことを防ぎます。

ポイ捨てをやめよう、ごみは正しく出そう

屋外で出したごみは持ち帰りましょう。

プラスチック製品の使用を控えよう

マイボトル、マイバッグを使いましょう。
プラスチック製品の代わりに使えるものがないか、身の回りを調べましょう。

参考文献

インフォビジュアル研究所, 図解でわかる14歳からのプラスチックと環境問題, 太田出版, 2019
東京都環境局, 海ごみを減らすために私たちにできること, 2019.9
東京都環境局, 東京のポイ捨てが太平洋の海ごみになっている, 2019.9

編集・発行

調布市環境部環境政策課

【TEL】042-481-7086 【FAX】042-481-7550

【E-mail】kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

刊行物登録番号 2020-156